

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年6月26日 7月9日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	濱中（管理者） 森田 松本 秀浦 田中（佳） 金崎 桐田 高田 津守 津守（美） （以下ページ同じ）

## ◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 30年度の課題について取り組みましたか？	5人	5人	人	人	10人

30年度の課題	<p>1 日勤者と夜勤者間で、重要な情報共有に漏れが無いよう、記録による確認をする。</p> <p>2 夜勤者の介護記録に必要な情報が漏れなく記載されるよう管理者や主任が指導し、チェックする。</p>
30年度の課題に対する取組み結果	<p>1 重要な情報は必ず介護記録に記入した。情報共有では連絡ノートによる申し送りがほぼ確実にされた。</p> <p>2 夜勤者の介護記録に必要な情報が漏れなく記載されているかどうか、管理者が確認した。</p>

## ◆今回（令和元年度；6月）の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	6人	4人			10人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	7人	3人			10人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	8人	2人			10人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	8人	2人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>② 職員の配置変更、本人が特に必要とするサービスの提供など、多機能的な対応をしている。</p> <p>③ 顔なじみの人と利用日を合わせる。訪問担当者と馴染みの関係が作れるよう当分の間同じ担当者とする。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
① 訪問サービスのみを希望するご利用者の場合、常勤者・兼務者・夜勤者間で情報共有にもれがある。	

令和元年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
① 訪問サービスのみ希望のご利用者に関する情報・ニーズは、利用受付表の様式を変更して記録できるようにし、情報共有の漏れをなくすこと 管理者や主任が情報共有の漏れが無いか確認する	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年6月26日 7月9日

2. 「～したい」の実現  
(自己実現の尊重)

メンバー 濱中(管理者) 森田 松本 秀浦 田中(佳) 金崎  
桐田 高田 津守 津守(美) (以下ページ同じ)

◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	30年度の課題について取り組みましたか?	5人	4人	1人	人	10人

30年度の課題	<p>1 所内会議で、職員は各利用者の「目標」をケアプランで確認し個別のサービスに生かすよう指示する。</p> <p>2 各利用者の介護記録にケアプランを添付し、職員は常に目を通しておくこと。</p>
30年度の課題に対する取組み結果	<p>1 所内会議で各利用者の「目標」をケアプランで確認する重要性を管理者が説明し、確認を指示した。</p> <p>2 利用者毎の目標や日々変化する支援内容を「個別介護記録」に記述して介護記録に添付したが目を通した職員は少なかった。</p>

◆今回(令和元年度;6月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	5人	5人			10人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	7人	3人			10人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	7人	3人			10人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	8人	2人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>① 介護記録ファイルに「個別介護計画」を添付し、随時目が通せるようにしている。</p> <p>④ 概ね出来ている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①②③ 各ご利用者の介護記録ファイルに「個別介護計画」を添付し、随時内容を確認するよう管理者が常勤者・兼務者・夜勤専任者へ要請していたが確認が十分ではなかった。</p>	

令和元年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
<p>①②③ 常勤者・兼務者・夜勤専任者が随時「個別介護計画」を確認するよう管理者、主任が指導する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年6月26日 7月9日

3. 日常生活の支援

メンバー 濱中(管理者) 森田 松本 秀浦 田中(佳) 金崎  
桐田 高田 津守 津守(美) (以下ページ同じ)

◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	30年度の課題について取り組みましたか?	3人	7人			10人

30年度の課題	<p>1 「声にならない声」の事例、掘り起こし方、記録方法等について検討会を持つこと。 2 夜勤者と日勤者間、専任者と兼務者間の情報共有は出来るだけ記録資料によって行うこと。</p>
30年度の課題に対する取組み結果	<p>1 このテーマは非常に難しい面がある。専門的な外部講師を招いての研修を考えている。 2 勤務時間帯が異なる職員間の情報共有化は、口頭を避けて記録で確認できるよう、介護保険制度における記録の重要性を踏まえて副理事長が所内会議で説明した。</p>

◆今回(令和元年度;6月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	5人	5人			10人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7人	3人			10人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5人	3人	2人		10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7人	3人			10人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8人	2人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>① ケアプラン、アセスメントシート、フェイスシート、主治医意見書、現状報告者等で確認できている。 ② パーキンソン症状の人には体調に応じ、手引き歩行または車椅子利用などのサービスを提供している。 ④⑤ 今日は活気がない、テンションが高い、昨夜眠れなかったなど、各ご利用者の情報を職員が共有しその日のサービスに配慮している。</p>	
できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>③ 常勤者・兼務者・夜勤専任者間で口頭での情報共有はできているが、記録が不足している。</p>	

令和元年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
<p>③ 常勤者・兼務者・夜勤専任者間で確実に情報共有が出来るよう、言語化・記録に留意すること。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年6月26日 7月9日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 濱中(管理者) 森田 松本 秀浦 田中(佳) 金崎  
桐田 高田 津守 津守(美) (以下ページ同じ)

◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	30年度の課題について取り組みましたか?	6人	3人	1人	人	10人

30年度の課題	1 本人の通い以外の自宅での生活実態について、本人や関係者などから聞き取って介護記録に記述して共有し、日常のサービスに反映していく。
30年度の課題に対する取組み結果	1 利用者本人の在宅での生活実態把握については、プライバシー遵守の面から一定の限度があることを踏まえて、日常の送迎時に同居家族から、また独居者については遠方の家族や近隣住民との情報交換などから、「声にならない声」も含めて把握に努めている。

◆今回(令和元年度;6月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5人	5人			10人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	7人	3人			10人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5人	5人			10人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	7人	3人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②	毎月、事業所から家族への「家族便り」で写真を添えての情報提供、諸行事への同行参加
④	近隣の知人が面会訪問、新設された「交流サロン」(ぬくもり支所)での交歓など。 地域資源に関する所内勉強会を開催して認識を広めた。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
③	本人が見えない在宅時での生活実態について情報量が少なく、把握が不足している。

令和元年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
③	本人の通い以外の自宅での生活実態について、職員の訪問時に本人や関係者などから聞き取って介護記録に記録して共有し、日常のサービスに反映していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年6月26日 7月9日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 濱中(管理者) 森田 松本 秀浦 田中(佳) 金崎  
桐田 高田 津守 津守(美) (以下ページ同じ)

◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	30年度の課題について取り組めましたか?	7人	3人	人	人	10人

30年度の課題	1 地域資源に関する認識が不足している面があるので、再認識と連携等に関する勉強会を計画する。
30年度の課題に対する取組み結果	1 地域資源は、高齢社会における人々の生活の安全や安定のために不可欠であるとともに、小規模多機能型居宅介護は地域資源の一つとして、通い・泊まり・訪問等のサービス機能を持ち、これがサービスの本命であり、柔軟に運営することが使命であることを、所内会議等で施設長が説明した。

◆今回(令和元年度;6月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	7人	3人			10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8人	2人			10人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8人	2人			10人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8人	2人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① ボランティアによる芸能披露(県外からも)や環境整備作業をして頂いている。 ②③④ 全職員が妥当適切かつ柔軟にサービス提供に当たっている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
① 管理者、主任から地域資源の意味について指導不足の面がある。	

令和元年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
① 地域資源に関する認識が不足している面があるので、管理者、主任が部門会議等で指導・教育する。インフォーマルな地域資源(近所付き合い、商店、移動図書館、ボランティア、地域行事など)の重要性も見落としてはならない	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年6月26日 7月9日

6. 連携・協働

メンバー 濱中(管理者) 森田 松本 秀浦 田中(佳) 金崎  
桐田 高田 津守 津守(美) (以下ページ同じ)

◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	30年度の課題について取り組みましたか?	8人	2人		人	10人

30年度の課題	1 今年度、道の駅を活用した介護予防・生活支援事業(新・総合事業)の開設に着手する。 これが登録者以外の高齢者や子供達、一般住民が事業所への関心を高めることを期待している。
30年度の課題に対する取組み結果	1 今年度に入って介護予防・日常生活支援サービスの拠点整備について関係者と協議を進め、11月の開設に至った。カフェ形式の拠点で介護予防のイベントを計画し、また利用登録者以外の高齢者、子供達の利用も今後計画していく。

◆今回(令和元年度;6月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	7人	3人			10人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	9人	1人			10人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	10人				10人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4人	4人	2人		10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	地域包括支援センター主催による医療福祉連携強化のための会合(須佐、弥富地区)がありケアマネが参加している。 田万川地区では介護事業所がケアプランを医院へ提出している

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
④	ご利用者の親戚・知人の来訪はあるが、子供の来訪はほとんどない。 過去に、地域保育園へ幼児の来訪を依頼したが拒否された経緯がある(年間計画に入っていない)

令和元年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
④	昨年度、道の駅を活用して新規に開設した介護予防・生活支援事業所(交流サロン)の利用促進を通じ、高齢者や子供達、一般住民が事業所の多機能サービスへの関心を高める工夫をする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年6月26日 7月9日
------------------	-----	----------------

7. 運営	メンバー	濱中(管理者) 森田 松本 秀浦 田中(佳) 金崎 桐田 高田 津守 津守(美) (以下ページ同じ)
-------	------	---

◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 30年度の課題について取り組めましたか?	7人	3人	人	人	10人

30年度の課題	<p>1 昨年同様に反省検討会や個別面談において経営関連情報を十分提供し、認識を深めること。</p> <p>2 利用者・家族・介護者や地域の方からの意見・要望・苦情等を出来るだけくみ取るため、運営推進会議の持ち方や家族・地域住民のオブザーバー参加について引き続き検討する。</p>
30年度の課題に対する取組み結果	<p>1 ヘルスカウンセリングは事業運営上重要課題であることから、外部講師による講習を行った。年度当初、事業方針等について資料で説明し、意見交換した。また本年度給与改定について説明した。事業所の「理念」「社会的責任」について副理事長、施設長が説明し、意見交換した(10.09)。個別面談では、キャリアパスの事業運営上の重要性や各職員キャリアアップの実態を説明した。</p> <p>2 運営推進会議における家族委員の人選が難しく、今後介護予防・生活支援サービス部門からも家族委員や関係者の参加について運営推進会議で意見を聞いて検討したい。</p>

◆今回(令和元年度;6月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	8人	2人			10人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7人	3人			10人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7人	3人			10人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5人	5人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①② 色々な場を通じて意見などを把握し、運営に反映している。</p> <p>④ キャラバンメイト、環境整備活動、自治会行事等への参加、奉仕活動、寄付など積極的に対応している。また、職員個人が、それぞれの地域でどのような地域協働活動をしているか昨年度末にアンケートしている。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>③ 地域からの意見や苦情などの情報が入りにくい。</p> <p>④ 職員に対して、対外的な事業所としての取組みについて説明不足の面がある。</p>	

令和元年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
<p>③ 利用者・家族・介護者や地域の方からの意見・要望・苦情等を出来るだけくみ取るため、運営推進会議の持ち方や家族・地域住民のオブザーバー参加について引く続き検討する。昨年度開設した「交流サロン」も活用し、地域住民の意見等を収集する。</p> <p>④ 反省検討会等を通じて、事業所の対外的な取組や協働活動などの実態を周知すること。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年6月26日 7月9日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 濱中(管理者) 森田 松本 秀浦 田中(佳) 金崎  
桐田 高田 津守 津守(美) (以下ページ同じ)

◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	30年度の課題について取り組みましたか?	8人	2人	人	人	10人

30年度の課題	<p>1 「介護助手」を数名採用し、事業所として介護職人材の有効活用による介護の「質」の向上を目指す。</p> <p>2 「リスクマネジメント」について再認識し、実践できるため研修を引き続き行う。</p>
30年度の課題に対する取組み結果	<p>1 年度当初から「介護助手」(ケアアシスタント)を逐次採用し、現在地元地域から4名の方に従事して頂いており、また以前から昼食の調理専任として4名を採用している。 本来業務を充実するとともに、介護度重度化への対応上のメリットがうかがえる。</p> <p>2 所内ではヒヤリハット、事故発生予防、感染症、災害避難(他施設研修含む)、不審者対応、行方不明者捜索、緊急時救急救命処置、感染症、福祉車両安全運転等の研修に参加した。</p>

◆今回(令和元年度;6月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9人	1人			10人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	9人	1人			10人
③	地域連絡会に参加していますか	10人				10人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	8人	2人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②③	概ね出来ている。
④	リスクマネジメントについては、事業所の安全・安心上特に重要であり、山口県による外部評価においても強調されていることから、防災避難訓練など定期的に取り組んである。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
④	「リスクマネジメントの体系」について職員への教育不足の面がある。

令和元年度の課題・具体的な改善計画	(200字以内)
④	「リスクマネジメントの体系」について、反省検討会等を通じて職員の認識を深めることとする。 「リスクマネジメント」について実践できるため、訓練や研修を引き続き行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年6月26日 7月9日

9. 人権・プライバシー

メンバー 濱中(管理者) 森田 松本 秀浦 田中(佳) 金崎  
桐田 高田 津守 津守(美) (以下ページ同じ)

◆30年度の課題に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	30年度の課題について取り組みましたか?	7人	3人		人	10人

30年度の課題

1 「尊厳」の観点から虐待・拘束問題やプライバシー問題を再認識するため、外部講師による所内研修を計画する。この中で、事例研究や虐待・拘束問題の「グレーゾーン」問題も研修に含める。

30年度の課題に対する取組み結果

1 平成30年4月以降の介護保険制度見直しの中で、事業所における身体拘束廃止対策が未整備の場合介護報酬の減算措置が取られることとなったことから、以下のことについて再整備した。  
 \*身体拘束適正化のための指針 \*身体拘束廃止対策委員会の設置と同規則の制定  
 \*身体拘束廃止対策委員会記録など関連書式の一部改正  
 外部講師による講習会は、介護労働安定センター委嘱講師を予定し、今後計画する。

◆今回(令和元年度;6月)の事業所自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9人	1人			10人
②	虐待は行われていない	9人	1人			10人
③	プライバシーが守られている	6人	4人			10人
④	必要な方に成年後見制度を活用している				必要な方の在籍がない	人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7人	3人			10人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ①②⑤ 概ね出来ている。

できていない点 200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ③ トイレ誘導時に他人に聞こえる程度の大きな声かけ、着替え時にスクリーンで遮るなどの措置が不十分。

令和元年度の課題・具体的な改善計画 (200字以内)  
 ①②③ 「尊厳」の観点から虐待・拘束問題やプライバシー問題を再認識するため、所内外研修を計画する。この中で、事例研究や身近な「グレーゾーン」(虐待に該当するかどうかの事例)問題も研修に含める。